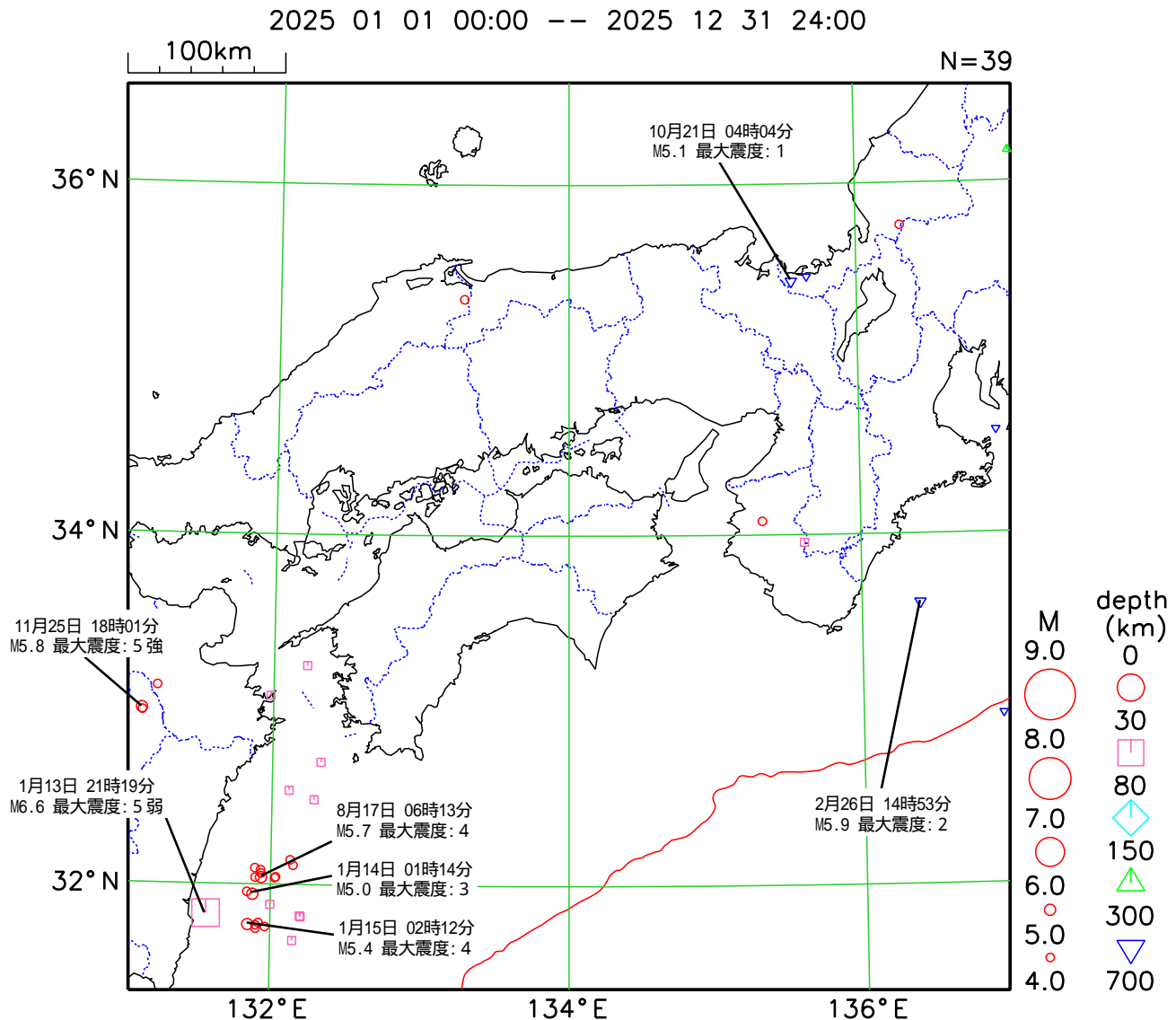


# 大阪管区気象台

## 管内地震活動図(2025年)



### 概況

図中の吹き出しは管内で震度4以上を観測した地震またはM5.0以上の地震に付加

2025年に上図の範囲内で発生したM4.0以上の地震は39回(2024年45回、2023年17回、2022年31回)でした。  
2025年に管内で震度1以上を観測した地震は188回(2024年284回、2023年163回、2022年220回)、このうち震度4以上を観測した地震はありません(2024年9回、2023年2回、2022年5回)でした。  
2025年の主な地震活動は次のとおりです。

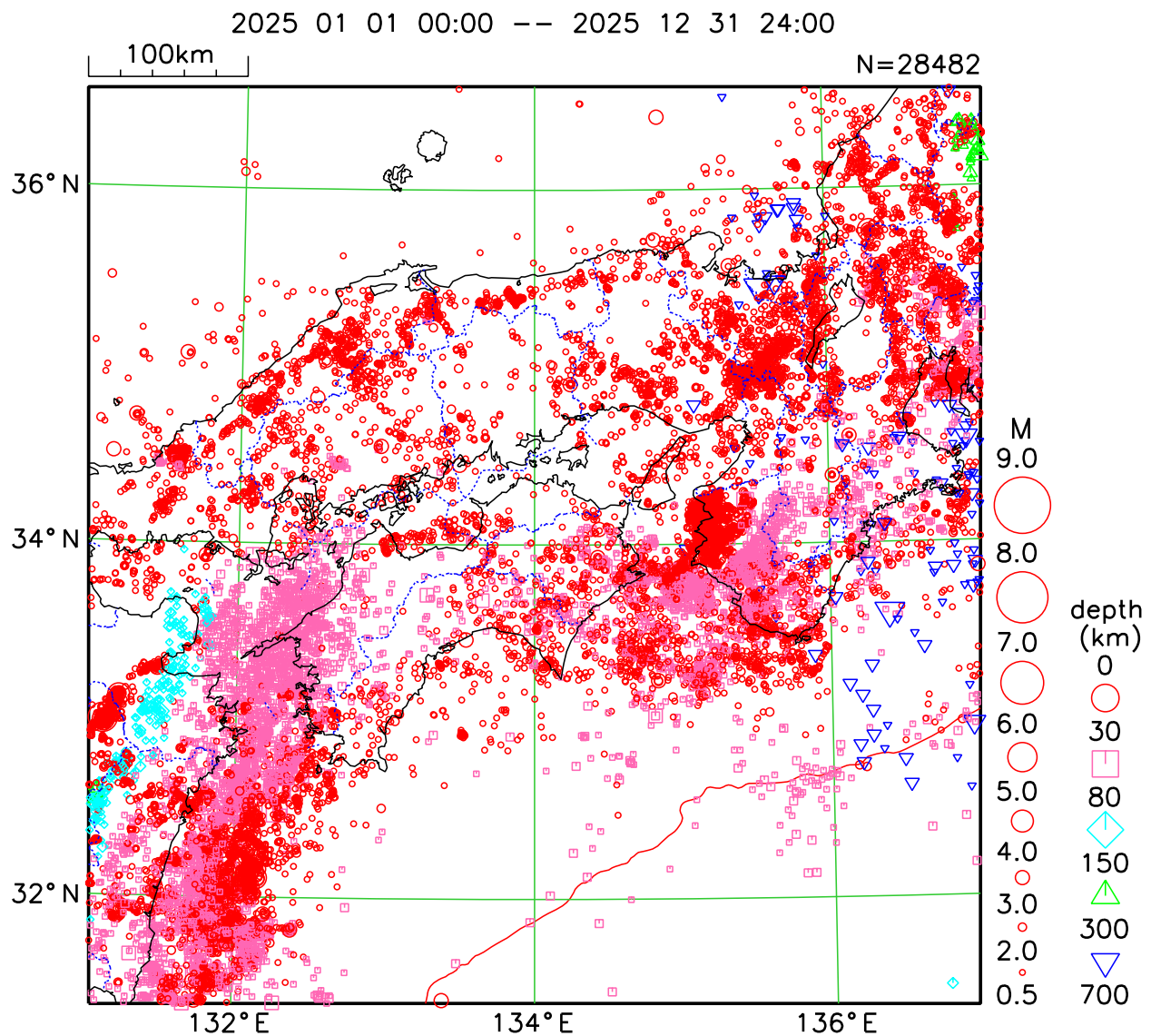
1月13日21時19分に日向灘の深さ36kmでM6.6の地震が発生し、宮崎県で震度5弱を観測しました。管内では兵庫県、鳥取県、島根県、広島県、愛媛県及び高知県で震度3を観測したほか、管内全域で震度2～1を観測しました。加えて、鳥取県西部で長周期地震動階級1を観測しました。また、管内では高知県の土佐清水で13cmなど、愛媛県、高知県で津波を観測しました。

7月30日08時24分(日本時間)にロシア、カムチャツカ半島東方沖でMw8.8の地震(Mwは気象庁による、図の範囲外)が発生し、北海道で震度2を観測しました。管内では鳥取県湯梨浜町、岡山県真庭市で震度1を観測しました。また、管内では高知県の土佐清水で60cmなど、和歌山県から愛媛県にかけて津波を観測しました。

本資料の震源要素及び震源データは、再調査されたあとと修正されることがあります。

本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(よしが浦温泉、飯田小学校)、2025年トカラ列島近海における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点(平島、小宝島)、EarthScope Consortiumの観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

# 大阪管区気象台 管内地震活動図(2025年)

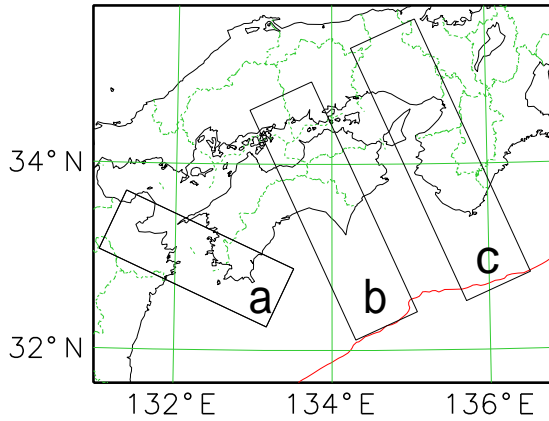


## 概況

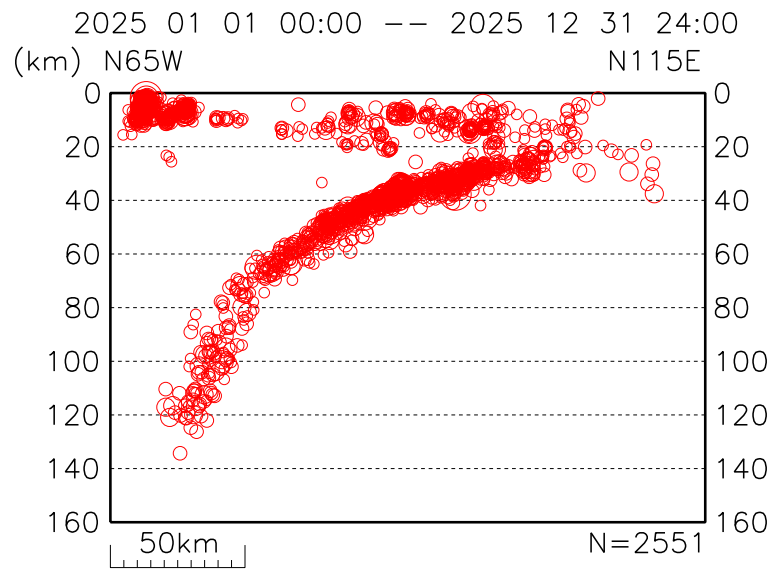
上図の範囲内で、2025年に震源が決定された地震のうち、M0.5以上の地震は28,482回(2024年は26,244回)でした。

# 管内地震活動図(断面図)

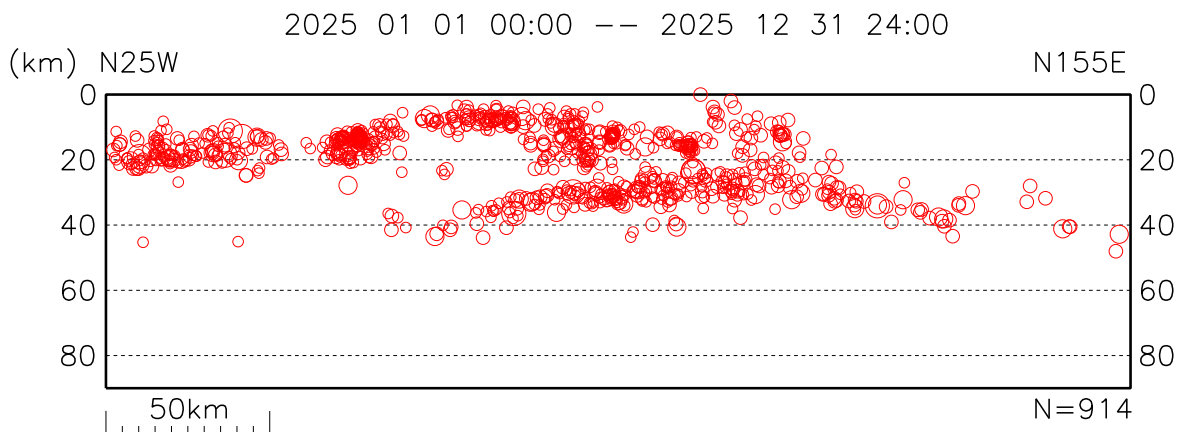
領域図



a. 豊後水道



b. 瀬戸内海中部～四国沖



c. 兵庫～和歌山南方沖

